■令和８年６月 29 日号（第 1984 号）

・安部港湾局長　港が日本の成長に貢献＝港湾ロジ、洋上風力等の取組推進
・港湾局　積算基準あり方検討会＝全工種対象に大規模改定へ
・港湾局　局長表彰（国際貢献活動）＝２名の受賞者を決定
・みなとの博物館だより（第 21 回）四日市港ポートビル展望展示室・うみてらす 14
・仙台塩釜港　雲雀野地区の防波堤（南）＝完成上部工等の実施設計
・函館港　Ｊブルーエコノミー研＝藻場造成実証結果取りまとめ
・千葉県　千葉ポートパーク活性化＝調査業務の企画提案を募集
・千葉県　産業成長プランの原案＝洋上風力で名洗港の整備等
・秋田港　秋田洋上風力、ＫＤＤＩ＝ドローンの自動点検成功
・千葉県　９年度国への要望まとめ＝千葉中央地区の埠頭再編等
・横浜港　本牧ふ頭のＢＣ２ゲート＝ＣＯＮＰＡＳ常時運用開始
・川崎港　開港 75 周年みなと祭り＝10 月開催、日本丸が寄港
・新門司沖２期　中仕切地盤改良４件公告＝延長 70ｍの床掘置換
・高松空港　ＣＡＴⅢの施工法検討業務＝ＲＥＳＡ整備と一体的検討
・三島川之江港　金子地区航行安全対策＝深浅測量、磁気探査も実施
・高松港　朝日地区水深 7.5m岸壁＝鋼矢板打設や吸出し防止工等
・高松港　朝日地区可動橋基本設計＝5200ＧＴ級フェリー対応
・徳山下松港　新南陽水深 12m岸壁延伸＝鋼管矢板で土留壁築堤へ
・神戸港航路附帯施設＝第 11 工区築造工事、ＷＴＯ対象
・堺泉北港　堺２区緑地実施設計業務＝上物施設利用も念頭に改良
・港技コンサル　第 16 回定期総会を開催＝災害復旧対応の取組等強化
・作業船協会　第 78 回定時総会を開催＝廣瀬ＪＭＵ社長が新会長就任
・沿岸センター　「宇宙港」の研究開発開始＝港湾、海洋に伴う技術活用
・PIANC-Japan　令和８年度通常総会＝日本の港湾技術の国際展開
・根固ブ協　８年度定時総会を開催＝型枠賃貸業の安定的存立へ
・航空局　空港における自然災害対策＝Ａ２－ＢＣＰの見直しも議論
・運輸総研　コンテナＴの効率化対策＝「降ろし取り」普及を提言
・ＣＮＡＣ　令和８年度総会を開催＝海辺の体験活動普及へ
・相模運輸倉庫　横須賀の海洋ＤＸ拠点＝港湾の高度利用を支援

■令和８年６月 22 日号（第 1983 号）

・中東情勢　港湾工事への影響調査＝材料価格上昇、出荷制限等
・土木学会　令和８年度定時総会＝小澤新会長、熊本次期会長
・港湾談話室　春の叙勲・褒章受章者＝お祝いの会開催し祝福
・港湾談話室　「外貿埠頭公団の思い出」＝橋間氏がコンテナ動向講演

・みなとの博物館だより（第 20 回）あおもり北のまほろば歴史館
・羽田空港　Ｄ滑走路の破損事案対策＝第１回検討委員会を開催
・苫小牧港　東港区周文ふ頭耐震岸壁＝本体工事を南北に分けて施工
・北陸地整　輪島港復旧工事説明会＝マリンタウン岸壁と作業船
・四日市港　霞ヶ浦北ふ頭W81 岸壁＝東側取付部築造と裏込工
・御前崎港　女岩地区防波堤（Ａ）＝経済的断面に向け構造検討
・秋田港　外港地区防波堤（第二南）＝ケーソン１函の製作工事
・千葉県　旭市沖を国へ情報提供＝洋上風力有望区域指定へ
・酒田港　コンテナ貨物利用促進＝助成メニューを大幅拡充
・須崎港　大峰地区岸壁、ケーソン式で＝カルシア改質材でコスト縮減
・みなとオアシス玉島　登録記念式典＝「みなとの元気は倉敷の元気」
・姫路港　広畑地区臨港道に着工＝網干沖地区の１Ｐ橋脚
・尼西芦港　尼座崎３号岸壁の改良＝プレキャスト梁・床版
・北九州空港　新門司沖土砂処分場３工区＝８年度土砂拝送工事手続き
・和歌山下津港海岸　　藤白海岸第３－Ａ工区築造＝15 億円未満のＷＴＯ対応
・海調協　８年度定時社員総会開催＝新会長に下司氏（五洋建設）就任
・海産研　２０２６年度総会・懇親会＝関係者集い、海洋産業発展を祈念
・ＪＯＰＣＡ　第３４回通常総会を開催＝港湾分野の国際交流に貢献
・ＷＦ協会　第３６回定時総会開催＝海辺のまちづくりを推進
・土木学会　小澤会長が就任挨拶＝持続可能な学会に進化を
・マリーナ・ビーチ協会　モナコ公国と国際協力協定＝次世代へつなぐマリン産業へ
・ＲＰＰＣ　８年度総会を開催＝サーキュラーＰの取組強化
・リサイクルソリューション山縣会長「登録技術の紹介について」

■令和８年６月 15 日号（第 1982 号）
・阿達参院議員　都内で政策セミナー開催＝『国政報告と懇談の集い』
・あだちまさしの目（第６回）　ＡＩと人間力
・港湾局・港空研　ＢＤＡＳを一般公開＝ブルーカーボンを見える化
・港湾局　協働防護協定の手引き＝官民関係者の締結を促進
・港湾統計速報（８年３月）
・北海道港湾協会　国交省港湾局に要望活動＝首長らが北海道の重要性伝える
・名古屋港　飛島東Ｒ２水深 15m岸壁＝ＷＴＯで撤去工・本体工
・北陸地整　港湾工事の品質向上へ＝金沢と新潟で説明会開催
・八戸港　八太郎・河原木地区施設＝市川土砂処分場の上部工
・東京都港湾局　小笠原８諸島港湾・漁港＝海岸保全施設整備計画策定
・横浜市　アンモニア船の環境価値＝新日本海洋社から購入

・いわき市　小名浜港パークエリア＝基本計画策定業務公募
・中部空港内定人事　櫻井副社長が退任＝後任に石澤氏
・下関港　新港地区で岸壁基本設計＝水深 12m延長１８０ｍ延伸
・室津港　防波堤（Ⅱ）築造を手続き＝ＷＴＯでケーソン２函据付
・北九州港　新門司南で基本設計業務＝岸壁取付部対象に構造設計
・舞鶴港　和田地区第２バース整備＝ケーソン４函製作手続き
・八尾空港　エプロン改良工事公告＝ノースエプロン部に着手
・高松港　朝日地区水深 7.5m岸壁＝鋼矢板打設や吸出し防止工
・神戸港　第１突堤緑地整備＝２例目のみなとＰＰＰ
・港湾局・港空研　新型ＧＰＳ波浪計を開発＝コスト縮減し設置海域拡大
・底浄協　８年度定時総会を開催＝ＣＮ実現への水環境活用等
・ＧＰＳ機構　第 21 回通常総会を開催＝洋上風力関連にも寄与
・港湾協会　政策研究所講演会＝海洋都市横須賀の原点と未来
・東亜建設工業　浮遊ケーソンの動揺低減＝伏富港岸壁工事に導入
・大林組　ＴＬＰ型浮体式洋上風力＝世界初の設計承認取得
・みなとの博物館だより（第 19 回）新潟市歴史博物館「みなとぴあ」

■令和８年６月８日号（第 1981 号）
・日本港湾協会第 99 回総会　横須賀市で開催＝東京湾口横須賀の魅力発信
・小泉防衛大臣が交流会でビデオメッセージ
・港湾海岸防災協議会　第 66 回通常総会を開催＝国土強靭化への協力要請
・港湾局　みなとオアシス玉島＝全国で 171 箇所に
・みなとの博物館だより（第 18 回）鳥羽市立海の博物館
・千葉県　８年度港湾整備振興大会＝港湾・海岸の整備要望を決議
・秋田港　飯島地区水深 11m耐震岸壁＝12m増深へ構造検討を開始
・川崎市　浮島１期地区を活用＝検討の考え方を取りまとめ
・新潟空港　護岸と滑走路等の改良＝実施設計と構造物調査等
・埋浚協会関東支部　港湾工事安全衛生研修会＝事故と海洋汚染の防止へ
・静岡県　遠州灘沖洋上風力を議論へ＝地域検討会設置、漁業等調査
・京浜港　仙台商社が脱炭素化推進＝バイオ燃料の船舶間供給
・熊本港　軟着底ケーソンの据付完了＝南防波堤２８００ｍが整う
・北九州空港　貨物用新エプロン計画＝８年度から整備着手へ
・下関港　水深 10ｍＲＯＲＯバース＝２ブロック目改良を再公告
・海ネット　総会・瀬戸内海首長サミット＝防災×観光テーマに廿日市市で開催
・北九州市　響灘南緑地の計画認定＝九州初のみなとＰＰＰ活用
・常陸那珂港　沖合でブルーカーボン創出＝民間主導協議会発足、実証開始へ

・マリーナ・ビーチ協会　第 56 回通常総会を開催＝地域に貢献できるマリーナへ
・ＪＷＰＡ　総会、活動報告会を開催＝健全な洋上風力マーケット形成
・潜水協会　第 54 回定時総会を開催＝日本社会を水中から支える
・五洋建設　男鹿・潟上・秋田市沖洋上風力＝ＳＥＰ船傭船契約締結
・海事局　造船業基金や辺野古事故＝稲垣局長５月記者懇談会
・港湾局　クルーズ等訪日旅客受入＝36 事業の実施を決定

■令和８年６月１日号（第 1980 号）
・自民党港湾議連　港湾整備・振興緊急提言＝主計局に施策実現を要望
・港湾局　港湾ロジスティクスまとめ＝危機管理、成長投資に反映
・みなとの博物館だより（第 17 回）みなとオアシス〝渚の駅〟たてやま（館山市立博物館別館）
・ＭＥＭＰＨＩＳ会　札幌で第 30 回講演会（６月 30 日）
・酒田港　外港地区の基地港湾整備＝疑似重力式の機能強化検討へ
・青森港　油川地区の基地港湾整備＝水深 12m岸壁増深で付帯工
・函館空港　排水機能強化を推進＝貯留槽に車両用斜路設置など
・清水港　新興津地区水深 15m岸壁＝ケーソン３函の製作工事
・北陸地整　和倉温泉の東側復旧＝最後の護岸ブロック設置
・四日市港　外港地区東防波堤改良＝Ｌ型ブロックの製作・据付
・横浜港　ＣＯＮＰＡＳ常時運用＝本牧ＢＣで７月中旬から
・ＫＤＤＩスマートドローン　水空合体ドローンで実証＝師崎港防波堤の自動点検
・中城湾港　新港地区西側の泊地浚渫＝水深 11m岸壁は地盤改良
・石垣港　防波堤（外）の延伸工事等＝大型旅客船受入れへの対応
・沿岸センター　７年度下期の評価証交付式＝部分変更２件、新規３件、更新６件
・土木学会賞　功績賞に港湾関係３氏＝技術賞に徳山下松港桟橋など
・土木学会賞　技術賞（Ⅱグループ）受賞＝徳山下松港、響灘洋上ＷＦ
・埋浚協会　８年度定時総会を開催＝港湾建設産業の魅力向上へ
・ＲＳＯ　第 27 期通常総会を開催＝沖合広域土砂処分場構想
・日港連　８年度の活動方針示す＝作業船は社会インフラ
・日港連　海洋土木技能者受入支援＝100～400 名の需要見込み
・ＪＩＣＡ研修員を歓迎　港湾開発・計画コース＝15 か国 19 名が参加
・国交省　官民連携基盤整備支援＝小名浜港、千葉港など 17 件
・五洋建設　2025 年 3 月期決算＝過去最高の増収増益
・東亜建設工業　フィリピン現地法人設立＝現地企業と協働、事業拡大
・東洋建設人事（5 月 20 日）

■令和８年５月 25 日号（第 1979 号）

・日港連　第 43 回通常総会開催＝安定的な事業量確保等
・港湾局　８年度直轄事業施策㊦＝生産性の向上
・みなとの博物館だより（第 16 回）山形県酒田海洋センター
・羽田空港　浅場形成で潜堤を補修＝造成区域で土砂投入も開始
・鹿島港　外港地区中央防波堤築造＝消波工と上部工の施工工事
・茨城港　常陸那珂港区中央ふ頭＝水深 14m岸壁裏込・裏埋工
・東京都港湾局　第 104 回港湾審議会＝港湾計画一部変更を答申
・中部空港決算　2025 年度は増収減益＝中期経営戦略「中部の貨物は中部から」
・追直漁港　第１港区水深 5.5m岸壁＝東防波堤の改良も継続施工
・枝幸港　本港地区の西物揚場改良＝屋根設置で基礎部分完了へ
・新潟空港　滑走路等の舗装改良＝老朽化対策を推進
・秋田港　本港地区航路泊地浚渫＝土砂は向浜地区処分場へ
・広島港宇品再編　今年度から岸壁本体着工＝桟橋の鋼管杭打設等予定
・徳島小松島港　赤石地区国際物流Ｔ＝コンテナ船受入れへ岸壁改良
・平良港　漲水地区防波堤（西）築造＝防波堤（下崎西）の延伸等
・平良港　地港審で軽易変更計画＝海面処分場、海保の係留施設
・大阪港　港湾計画を一部変更へ＝南港、夢洲に新フェリー埠頭
・鹿児島県　いちき串木野市沖洋上風力＝船舶航行実態調査等業務公募
・海技協　８年度通常総会を開催＝20 周年記念祝賀会も実施
・韓国ＣＬＴとＪＰＣ　最新鋭ＡＩとＤＴを統合＝港湾荷役安全管理システム開発
・不動テトラ　浮体式波力発電実証実験＝研究所平面水槽で実施
・令和８年度各港の予算概要（北海道開発局）

■令和８年５月 18 日号（第 1978 号）

・国交省港湾局　８年度直轄事業実施施策＝㊥担い手の育成・確保
・あだちまさしの目（第５回）～全体と実態～
・日・シンガポール　第３回年次会合開催＝脱炭素、デジタル化議論進展
・５月１日付人事　中国局長に山本氏＝沖縄開建部長に宮津氏
・釧路港　西港区の土砂処分場建設＝新西防波堤築造で上部工も
・敦賀港　鞠山南地区水深９ｍ岸壁＝ケーソン製作と地盤改良
・石狩湾新港　外航商船入港９０００隻＝記念セレモニーを開催
・東京空港事務所　羽田空港の８年度事業概要＝アクセス鉄道、人工地盤整備
・京浜港湾事務所　横浜港ＣＴ再編、川崎港臨港道＝令和８年度事業概要
・千葉港湾事務所　８年度の事業概要＝千葉港千葉中央地区岸壁等
・特定離島港湾　８年度の事業概要＝沖ノ鳥島で活動拠点整備

・東京湾口航路　８年度の事業概要＝中央航路整備や環境活動等
・那覇港　新港ふ頭 10m岸壁の築造へ＝地盤改良促進し現地着工に
・水島港　泊地浚渫工事の手続きへ＝カルシア改質し深堀跡に投入
・志布志港　新若浜地区岸壁の築造へ＝最終２函の据付工手続き
・高知港海岸　桂浜地区東護岸の改良へ＝鋼杭回転・圧入で２００本
・令和８年度　各港の予算概要
・関東地整　中川副局長が就任会見＝国際戦略港湾の整備など推進
・愛知県蒲郡市　竹島ふ頭に港湾情報拠点＝設計業務プロポーザル
・釧路港　貨物積替えの実証実験＝継続実施でモーダルシフト推進
・沿岸センター　水砕スラグ利用技術マニュアル＝改訂版を新たに発刊
・みなとの博物館だより（第 15 回）口之津歴史民俗資料館（本館・分館）

■令和８年５月 11 日号（第 1977 号）
・国交省港湾局　中東情勢による不安解消へ＝直轄港湾工事の対応策通知
・港湾局　８年度直轄事業実施施策＝㊤働き方改革の取組
・春の叙勲　花島氏が旭日双光章＝瑞中に梅山氏、田邊氏、宮本氏
・みなとの博物館だより（第 14 回）苫小牧ポートミュージアム
・鹿島港空事務所　国際海上ＣＴ整備を推進＝８年度事業概要、茨城空港でエプロン設計
・東京港湾事務所　中防外と臨港道路を推進＝８年度の事業概要を公表
・新潟港　西港地区で深浅測量＝浚渫箇所と投入箇所で実施
・伏木富山港国際物流Ｔ改良事業　完成式典開催＝富山地区に初の耐震強化岸壁
・内閣府　能登復興タスクフォース＝石川県や６市長が要望提出
・奥尻港　南地区護岸築造初弾工事＝青苗漁港で南防波堤改良も
・横浜市　港湾インフラＤＸ戦略＝政令市港湾局で初の策定
・横浜港　米学者が脱炭素化で提言＝「電力供給の拡充が必要」
・横浜市　国内初バイオ燃料港務艇＝横浜港ＣＮＰへ運用開始
・北九州港新門司南　８年度に水深９ｍ岸壁着工＝ＲＯＲＯ船需要増加に対応
・徳山下松港　新南陽でケーソン製作＝徳山では事前処理土で裏込
・高知港海岸　種崎川津波防波堤２函築造＝残るは陸側延伸部２函
・別府港石垣地区　水深 7.5m岸壁に着手＝予防保全事業適用し改良
・宿毛湾港　池島防波堤築造工事＝堤頭函の粘り強い化へ
・港湾関係業務発注見通し（令和８年４月現在）
・港湾局　シャーシ等の位置管理Ｓ＝導入ガイドラインを策定
・港湾局　維持管理ガイドライン改訂＝効率化や技術者不足に対応
・海事局　中東情勢での安全確保等＝新垣局長４月記者懇談会
・五洋建設・東京大学　浮体式洋上風力を共同研究＝施工合理化に向け英知結集

・三菱総研　洋上風力と漁業の共創＝11 の提案（第２版）
・新刊紹介　「みなと」のインフラ学増補版－PORT2030 の実現に向けた処方箋

■令和８年４月 27 日号（第 1976 号）
・国交省港湾局　８年度の直轄事業実施施策＝新規９、拡充・改善 20 項目
・第３回港湾ロジWG開催＝官民投資ロードマップ議論
・ＣＮＰ認証　新規に伏富港（北陸初）＝名古屋港がレベルアップ
・みなとの博物館だより（第 13 回）物流博物館
・東京港　Ｙ３バースの上部工事＝ジャケット９基分施工へ
・仙台塩釜港　今秋めどに長期構想策定へ＝第３回委員会で中間案示す
・釧路港　新たな長期構想を策定＝西港区の埠頭再編や施設防災
・北陸地整　能登半島地震の被災港湾＝係留施設の６割が復旧完了
・紋別港　港町地区水深 7.5m岸壁＝元稲府漁港北防波堤補修も
・千葉港　千葉中央水深９ｍ岸壁＝前面浚渫と舗装で最終段階
・遠隔操作ＲＴＧ　東京港で初導入＝青海Ａ３で運用開始
・ＣＮＰ形成計画２・０＝東京都が策定
・川崎港で再エネ電力＝企業連携でＣＮＰ形成
・高松空港　ＣＡＴⅢ導入の調査・設計＝８年度から新規事業着手へ
・博多港　ＲＯＲＯターミナルの整備＝実施設計と基本設計を予定
・三島川之江港　ＲＯＲＯ岸壁断面検討＝水深９ｍ延長２４０ｍの整備
・室津港　８年度に防波堤（Ⅱ）延伸＝ＷＴＯでケーソン２函据付
・福岡空港　国内線誘導路改良を計画＝既設ＰＣ版の打換など実施
・港湾空港関係発注見通し（令和８年４月現在）
・海産研　洋上風力ＳＣ構築を提言＝第４３７回定例研究会開催
・いであ　ＡＵＶの長時間稼働実用化＝画像データで自己位置推定
・新刊紹介　『港湾法講義―公共施設法制の比較をもとにした条文の解説』木村琢麿［著］
・沿岸センター　港湾「設計士・設計士補」＝８年度の試験受付開始

■令和８年４月 20 日号（第 1975 号）
・金子国土交通大臣　横浜港のコンテナターミナル視察＝「港の機能強化を戦略的に」
・港湾局　水素・アンモニアの受入＝環境整備ガイドラインを策定
・港湾局　浮体式洋上風力の海上施工＝技術開発制度第１回公募開始
・政府　新たに 10 空港・７港湾＝特定利用空港・港湾を追加指定
・みなとの博物館だより（第 12 回）蒲郡市生命の海科学館
・港湾局人事（４月８日付）
・名古屋港　新たな長期構想を策定＝「物流で価値創造」を基本理念に

・石狩湾新港－仙台塩釜港　新航路開設記念式典＝井本商運「さくら」が初寄港
・船川港　代行制度で直轄が施工＝本港地区水深 10m岸壁改良
・青森空港の長期構想＝県が検討業務公募
・近畿地整　８年度発注見通し（４月期）＝神戸港臨港道路１Ｐ、４Ｐ基礎等
・鹿児島港　本港地区北ふ頭を利活用＝みなと緑地ＰＰＰも活用
・国交省地方整備局（港湾関係）４月１日人事
・港湾局　クルーズ協議会と意見交換＝次のステップに向け議論
・港湾局　遠隔操作荷役機械の導入＝モデル運用規程作成、公表
・国交省　第６期技術基本計画策定＝港湾分野における取組方向
・（一社）日本海洋土木技術協会　設立総会開催＝技能者の処遇改善目指す
・東洋建設　石狩湾新港を母港に＝国内最大級自航式ケーブル敷設船
・東洋建設　江井島でアマモ造成＝４年連続Ｊブルークレジット認証
・特定利用港湾・空港＝８年度公共インフラ整備予算
・東洋建設人事（５月１日）

■令和８年４月 13 日号（第 1974 号）
・港湾関係業界代表　局長に積算基準改定要望＝30 年振りの大改正へ準備
・港湾施設　点検技術カタログを更新＝新たに 10 技術を追加
・港湾局　国際貢献活動表彰を創設＝ガイドライン等策定功績
・あだちまさしの目（第４回）～油断と想定外～
・みなとＳＤＧｓパートナー　新たに５者が登録、登録者３５３者に
・港湾局　Cyber Port（港湾物流）＝航空貨物もＮＡＣＣＳ連携可能に
・青森港　油川地区の基地港湾整備＝地盤改良工事２件を公告
・東北地整　東北国際物流戦略チーム＝８年度第 20 回本部会開催
・サロマ湖漁港　西防砂堤改良で上部工＝水深 4.5m航路の補修も
・東北地整・青森県　第３回八戸港復旧検討会＝９年度に復旧完了の方針
・愛知県　全国初の協働防護協議会＝三河港神野・明海地区エリア
・名古屋港　2026 年度当初予算案＝一般会計で 292 億円
・横浜市　パティンバン港と覚書＝協力体制構築、連携強化
・七尾港　小島・寿町・府中地区＝３つの防波堤を災害復旧
・伏木港大橋　本格復旧工事が完了＝３月 30 日から通行可能に
・境港　８年度に昭和南岸壁本格化＝ケーソン製作、地盤改良等
・新門司沖２期　中仕切護岸整備に着手へ＝８年度から築造工事本格化
・八代港　大築島土砂処分場の整備＝ＷＴＯで地盤改良手続き
・福山港　箕島地区水深 12m岸壁＝８年度から未整備区間に着手
・下関港海岸　長府・壇ノ浦の直轄海岸＝８年度に最終５工区着手

・姫路港　橋梁の詳細設計業務に＝航路部、広畑地区が対象
・姫路港　ブルーインフラ調査へ＝自然環境の保全・再生等
・和歌山下津港海南地区　藤白・第２工区詳細設計＝７号桟橋部を対象に実施
・国交省港湾局　サーキュラー港湾を募集＝８月上旬に選定結果公表
・東京湾再生フォーラム　ＣＳＲ－ＮＰＯ未来交流会＝湾奥での藻場再生活動など
・東洋建設・ＪＦＥスチール　カルシア改質土で干潟造成＝尼・西・芦港で実証実験
・東亜建設工業　東ティモールの空港受注＝約 64 億円、工期 28 ヶ月
・航空局　空港除雪の省力化＝第２回検討委員会を開催
・横浜市港湾局　洋上浮体データセンター＝世界初実用化へ実証実験
・みなとの博物館だより（11）瀬戸内海歴史民俗資料館（香川県立ミュージアム分館）

■令和８年４月６日号（第 1973 号）
・国交省港湾局　荷役機械の生産機能強化等＝第２回港湾ロジＷＧ会合開催
・港湾局　第９回ＣＮＰ形成検討会＝脱炭素化推進事業進展へ
・新規事業評価　三島川之江港、博多港了承＝複合一貫輸送Ｔ事業
・４月１日付人事　関東地整副局長に中川氏＝北陸地整副局長に成川氏
・東京港　中防外地区のＹ３バース＝技術検討と安全対策業務
・金沢港　無量寺岸壁の改良工事＝災害復旧に加え耐震化も施工
・小名浜港　東港地区第二防波堤＝20 函目の据付け施工
・石川県　地方港湾審議会を開催＝七尾港臨港地区の追加指定等
・金沢港戸水ふ頭　クルーズ船受入再開＝２隻同時寄港も可能に
・振興協会　金沢港セミナーを開催＝港湾の魅力を発信
・四日市港　管理組合８年度当初予算＝0.8％増の約 66 億円
・三島川之江港　金子地区複合一貫輸送Ｔ＝８年度新規採択で了承へ
・博多港　新規に複合一貫輸送Ｔ整備＝水深９ｍ延長５２０ｍに再編
・和歌山下津港　藤白護岸第２工区整備へ＝護岸背後の地盤改良を予定
・志布志港　新若浜地区岸壁が進捗＝８年度に最終２函築造へ
・佐世保港　前畑の水深 11m岸壁改良＝ＦＲＧカバー工法で実施
・港湾発展懇談会　国、関係団体で意見交換＝認識共有し政策実現目指す
・港湾局・国総研　港湾の脱炭素化取組＝コンクリ、作業船燃料を重点
・Ｊブルークレジット　認証交付式開催＝７年度は 52 サイトで実施中
・海事局　中東情勢での安全確保等＝新垣局長３月記者懇談会
・鉄鋼連盟　土木鋼構造研究シンポ＝長期耐久性と維持管理技術
・みなとの博物館だより（第 10 回）船の科学館

■令和８年３月 23 日・3 月 30 日合併号（第 1972 号）

・港湾分科会　四日市港の改訂計画了承＝両津、三島川之江、博多の一部変更
・港湾局　港湾工事の生産性向上＝ＩＣＴ施工の拡大へ取組推進
・みなとの博物館だより（第９回）博多ポートタワー・博多港ベイサイドミュージアム
・若築建設　長廻常務が新社長に＝烏田社長は取締役会長
・横浜港　山下ふ頭再開発事業計画案＝２号・３号岸壁の強化など
・四日市港　霞ヶ浦北ふ頭W81 岸壁＝先行部供用に向け築造進展
・四日市港　港湾脱炭素化推進協議会＝推進計画変更案と進捗状況
・新潟港　西港地区の土砂処分場＝北護岸築造、西ケーソン製作
・仙台塩釜港　防波堤（南）の築造工事＝ケーソン１函据付で完了へ
・金沢港　大野地区航路浚渫＝水深 13m化へ続き工事
・茨城県地港審　鹿島港港計一部変更＝北公共ふ頭と北海浜地区
・石原近畿副局長　国際コンテナ戦略港湾促進＝湾岸道西伸部は橋脚基礎追加
・８年度新規事業　三島川之江港、博多港が候補＝ＲＯＲＯ貨物取扱い強化
・名瀬港　旧岸壁を改良、ふ頭再編＝撤去工事２件を手続き中
・徳島飛行場　海上地盤改良工事進む＝９年度もＳＣＰ継続へ
・横浜川崎国際港湾　設立 10 周年記念式典開催＝使い勝手の良い国際港湾へ決意
・ＪＷＰＡ・ＧＷＥＣ　洋上風力で連携強化＝ＭＯＵ締結、知見共有し成長へ
・北九州響灘洋上ＷＦ　３月２日運転開始＝国内最大級、22 万ｋＷ
・衣浦ＰＩ　第Ⅱ期整備の環境配慮書＝国交相が愛知県に意見送付
・三河港　サーキュラーエコノミー＝循環資源の検討状況を報告
・五洋建設人事・機構改革（４月１日）

■令和８年３月 16 日号（第 1971 号）
・国交省港湾局　フェリー・ＲＯＲＯシャーシの位置管理＝システム導入ガイドライン示す
・港湾局　洋上風力基地港湾あり方＝港湾の施設規模案示し議論
・国交省　水門・陸閘の管理運用＝カムチャッカ地震の実態把握
・みなとの博物館だより（第８回）坂井市龍翔博物館
・港湾局　ＣＮＰ認証第３弾＝堺泉北、三河、四日市
・関東地整　東扇島地区で広域防災訓練＝夜間ヘリや管理訓練を実施
・東京港　中防外Ｙ３整備が進捗＝残り 11 基のジャケット据付へ
・千葉港海岸　船橋地区日の出胸壁改良＝築造工事（その２）を実施
・両津港　湊地区水深７・５ｍ岸壁＝地盤改良と桟橋部構造検討
・三河港　神野地区４号岸壁改良＝第３バースの防食工完了へ
・秋田港　外港地区防波堤（第二南）＝ケーソン１函の築造工事
・新潟港西港地区＝航路泊地浚渫工事
・相馬港　本港地区防波堤（沖）＝ケーソン３函の改良

・新門司沖２期　護岸築造でＷＴＯ２件公告＝今後は中仕切整備を促進へ
・境港外港昭和南国際物流Ｔ着工式典開催＝早期完成に大きな期待
・唐津港　８年度に妙見岸壁改良概成＝東港では航路・泊地浚渫促進
・博多港　中央航路水深 12m岸壁＝三池港も水深 10ｍを促進
・大阪府　８年度予算１３２億円＝港湾計画改訂に向け調査等
・港空研ら　グリーンレーザーで藻場計測＝ブルーカーボン拡大へ新手法
・東亜未来フォーラム　「浅野総一郎と東亜建設工業」＝早川社長が浅野翁の取組解説
・港湾局　港湾施設の維持管理＝４月にガイドライン公表
・清水港・みなと色彩計画推進協　共創によるみなとまち清水の未来＝難波市長、中原副局長ら意見交換
・航空局　交通政策審航空分科会＝空港の基本方針の改正へ
・京浜港　物流協議会の議事概要＝海上コンテナ輸送の課題など
・東北地整　みなとオアシスＮＷ会議＝賑わい創出活動を推進
・東亜建設工業人事（４月１日）

■令和８年３月９日号（第 1970 号）
・国交省港湾局　フェリー・ＲＯＲＯシャーシの位置管理＝システム導入ガイドライン示す
・港湾局　洋上風力基地港湾あり方＝港湾の施設規模案示し議論
・国交省　水門・陸閘の管理運用＝カムチャッカ地震の実態把握
・みなとの博物館だより（第８回）坂井市龍翔博物館
・港湾局　ＣＮＰ認証第３弾＝堺泉北、三河、四日市
・関東地整　東扇島地区で広域防災訓練＝夜間ヘリや管理訓練を実施
・東京港　中防外Ｙ３整備が進捗＝残り 11 基のジャケット据付へ
・千葉港海岸　船橋地区日の出胸壁改良＝築造工事（その２）を実施
・両津港　湊地区水深７・５ｍ岸壁＝地盤改良と桟橋部構造検討
・三河港　神野地区４号岸壁改良＝第３バースの防食工完了へ
・秋田港　外港地区防波堤（第二南）＝ケーソン１函の築造工事
・新潟港西港地区＝航路泊地浚渫工事
・相馬港　本港地区防波堤（沖）＝ケーソン３函の改良
・新門司沖２期　護岸築造でＷＴＯ２件公告＝今後は中仕切整備を促進へ
・境港外港昭和南国際物流Ｔ着工式典開催＝早期完成に大きな期待
・唐津港　８年度に妙見岸壁改良概成＝東港では航路・泊地浚渫促進
・博多港　中央航路水深 12m岸壁＝三池港も水深 10ｍを促進
・大阪府　８年度予算１３２億円＝港湾計画改訂に向け調査等
・港空研ら　グリーンレーザーで藻場計測＝ブルーカーボン拡大へ新手法
・東亜未来フォーラム　「浅野総一郎と東亜建設工業」＝早川社長が浅野翁の取組解説

・港湾局　港湾施設の維持管理＝４月にガイドライン公表
・清水港・みなと色彩計画推進協　共創によるみなとまち清水の未来＝難波市長、中原副局長ら意見交換
・航空局　交通政策審航空分科会＝空港の基本方針の改正へ
・京浜港　物流協議会の議事概要＝海上コンテナ輸送の課題など
・東北地整　みなとオアシスＮＷ会議＝賑わい創出活動を推進
・東亜建設工業人事（４月１日）

■令和８年３月２日号（第1969号）
・五島洋上ウィンドファーム＝日本初の浮体式、運転開始記念式典開催
・港湾局　港湾工事のＣＯ２排出量削減＝目標とロードマップ案議論
・みなとの博物館だより（第６回）東京臨海部広報展示室「ＴＯＫＹＯミナトリエ」
・仙台塩釜港　雲雀野地区国際物流Ｔ整備＝地盤改良、浚渫の続き工事
・名古屋港　金城ふ頭水深12m85号岸壁＝取付部の改良工事を開始
・石狩湾新港　経営戦略を見直し＝管理組合が意見募集
・小名浜港　東港地区第二沖防波堤＝ケーソン据付に向け基礎工
・久慈港　湾口地区防波堤（北堤）＝ケーソン据付築造工事
・茨城港　常陸那珂工区中央ふ頭＝岸壁工事用の通路整備
・東京港　ＣＮＰ２．０案で意見募集＝新たな中期目標設定
・東京港　ＣＯＮＰＡＳ予約制拡大＝大井６・７号で常時運用
・横浜港ＢＣ２　ＣＯＮＰＡＳ予約者限定（３月２～６日）
・大阪港・空整備事務所　大阪港航路浚渫工事促進＝附帯施設の新島護岸を嵩上げ
・下関港海岸　宮崎水門の地盤改良工事＝施工検討業務の手続きも予定
・岡山県・ＭＩＴＡ　水島港セミナーを開催＝安定した物流環境を提供
・神戸市予算　神戸空港の機能強化など＝空港島の将来構想検討も
・中国地方国際物流戦略Ｔ　浜田港利用者懇談会開催＝コンテナ船大型化への対応
・広島空港　８年度にＲＥＳＡ完了＝土工の仕上や空港舗装
・中部地整ら　四日市港で実働防災訓練＝関係機関の連携強化
・みなと総研　海の再生・ブルーインフラ賞＝授賞式開催、宇和島、岩国市神東の取組
・海の再生全国会議in広島＝豊かな里海の形成に向けた取組
・志布志港　海の環境学習とアマモ苗付＝地元小学生ら41名が参加
・北九州市・白海　「みなとのお仕事見学会」＝小学生が「アポロ18号」乗船
・東洋建設　中村社長が現場パト＝金沢港災害復旧工事
・四国中央市　城山下臨海土地造成地　予約分譲の公募を開始
・五洋建設人事・機構改革（４月１日、６月24日）
・日鉄エンジニアリング役員人事（４月１日）

■令和８年２月 23 日号（第 1968 号）
・日本初　メタノールバンカリング＝船から船へ、横浜港の錨地で実施
・みなと緑地ＰＰＰ　都内で意見交換会開催＝使い方テーマに２２０名参加
・国交省港湾局　みなと緑地ＰＰＰガイドラインを策定
・みなとの博物館便り（第５回）青函連絡船メモリアルシップ八甲田山
・国交省　官民連携基盤整備調査費＝８年度第１回募集開始
・沿岸センター　維持管理士、構造物設計士＝７年度の合格者を発表
・四日市港　港湾計画改訂案を了承＝港湾審議会、令和 10 年代後半見据えた取組
・関東地整　横浜港コンテナ輸送効率化＝第 14 回検討会、ＣＯＮＰＡＳ活用など議論
・東京都港湾局　第 103 回港湾審議会開催＝大井コンテナふ頭一部変更等
・東京都　令和８年度予算案概要＝クルーズふ頭強化など
・釧路港ポートセミナー＝都内で開催、東北海道の拠点をアピール
・秋田港　外港地区防波堤（南）改良＝港外側強化で消波Ｂ製作
・金沢港　大野地区防波堤（西）改良＝被覆工、消波工で強化
・石狩湾新港管理組合＝８年度予算は約 40 億円
・岩国臨港道路　Ⅲ期区間の橋梁修正設計＝洞門やケーブル添架に対応
・大分港海岸　津留地区北護岸改良が進捗＝取・排水区間接続部工事へ
・細島港工業港区　水深９ｍＲＯＲＯバース＝ケーソン岸壁の床掘・捨石
・尾道糸崎港　浅場造成へ潜堤護岸築造＝８年度の外周部概成見込む
・志布志港　若浜地区防波堤（沖）築造＝堤頭函部のブロック巻き工
・三島川之江港　緩やかな指定港化で合意＝全国並みの標準港へ取組
・業務入札結果（７年 12 月契約分）
・ＲＳＯ　登録技術セミナーを開催＝管中混合処理工法の施工技術
・港湾談話室　松本副センター長が後援＝マルチビーム音響測深動向
・中部地整　マリーナ・ビーチ協会と協定＝海からの支援体制強化へ
・中部地整　西尾市で海上輸送訓練＝マリーナ所有の小型船舶を活用
・日本オープンイノベ大賞　洋上データセンター＝郵船らが総務大臣賞
・東洋建設　生成ＡＩ映像分析システム＝工事現場をリアルタイム監視
・あおみ建設　清水建設グループに参画＝６月下旬完成子会社に
・みらい建設工業人事・機構改革（４月１日）
・東亜建設工業人事（２月１日）

■令和８年２月 16 日号（第 1967 号）
・国交省港湾局　ブルーカーボン取組を推進＝防波堤活用、沖合展開も視野
・港湾局　遠隔操作荷役機械の安全＝モデル規程を年度内策定へ

・港湾海岸防災協議会　港湾における防災・減災＝能登半島災害と復旧・復興
・みなとの博物館だより（第４回）横浜港みなと博物館・帆船日本丸
・港湾統計速報（７年 11 月）＝前年同月比７・１％増
・名古屋港　長期構想の最終案を議論＝管理組合、第４回検討委員会を開催
・輪島港　復旧・復興プランを変更＝災害発生土海面処分場計画
・八戸港　第２回復旧検討会を開催＝復旧方針や工程で意見交換
・北陸地域　広域バックアップ専門部会＝国際物流戦略チーム、代替輸送訓練結果等報告
・岩手県　いわてポートフォーラム＝知事と各市町が港湾を紹介
・小名浜港　都内で港湾セミナー開催＝内田市長が利用促進を呼びかけ
・長崎港　松が枝クルーズ第２バース＝ケーソン製作、２函を追加
・高知港　外郭施設の強化促進へ＝東第一防波堤の洗掘防止等
・苅田港　新松山の 12m国際物流Ｔ＝８年度末完成に向け整備促進
・和歌山港湾事務所　８年度の泊地浚渫工事＝日高港、和歌山下津港で実施
・徳山下松港　新南陽地区水深 12m岸壁＝２件の航路・泊地浚渫手続き
・関門航路　８年度も日明沖海域促進＝３水域に分け水深 14m化
・工事入札結果（令和７年 12 月契約分）
・カナデビア・日鉄エンジ　27 年４月経営統合へ検討開始＝資源循環、脱炭素技術で連携強化
・東京都港湾局ら　令和７年度「東京港のつどい」＝500 人が集い更なる発展に期待
・鹿島港　都内でセミナー開催＝茨城県が最新の港湾情報報告
・広島技調　技術交流会を開催
・横浜技調　技術交流会（2/26）
・石狩湾新港Ｒ７貨物量

■令和８年２月９日号（第 1966 号）
・国交省港湾局　港湾運送業の適正取引＝ガイドライン策定、活用促進
・あだちまさしの目（第２回）＝インドネシア、東ティモール視察
・港湾局　広域港湾のＢＣＰ策定指針＝経済活動維持輸送追記し改訂へ
・港湾局　海外港湾物流プロジェクト協議会＝アフリカの港湾海外展開等
・リサイクルポート推進協　新会長に矢口酒田市長＝臨時総会を書面開催
・人事　須野原氏が全浚協会顧問に
・訃報　善功企氏がご逝去
・北開局　北海道港湾活用ビジョン＝洋上風力導入促進で中間報告
・関東地整　京浜港物流高度化協議会＝物流効率化に向け意見交換
・茨城空港　新規取付誘導路実施設計＝複数化工事に向け最終業務
・北陸地整　佐渡クルーズの二次交通＝両津港での実証結果を報告

・東北地整ら　クルーズカンファレンス＝業界情勢に関する講演など
・飯田港　東防波堤の災害復旧＝消波ブロック製作工事
・千葉港　港湾審の掲載内容修正＝葛南中央地区で計画変更
・京浜港湾事務所　東扇島水江町線＝用地測量業務
・高知港海岸　種崎津波防波堤ケーソン据付＝三重防護第２ラインの整備進捗
・那覇港管理組合　クルーズ拠点形成計画策定＝新港ふ頭旅客Ｔビル、８月着工へ
・神戸港　第４防波堤の撤去工事＝合計５函のうち２函を実施
・指宿港海岸　湯の浜地区の整備を促進＝突堤や離岸堤の築造等
・志布志港　新若浜地区バルクバース＝８年度に本体築造を完了
・広島港　小学生が工事現場を見学＝東亜が協力、担い手育成
・佐伯港　水深10m岸壁改良築造等＝ジャケット１基の据付等
・ＪＯＰＣＡ　台湾初開催セミナー報告＝日・台の港湾分野のあり方
・みなとの博物館だより（第３回）呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）
・中部地整ら　みなとオアシス会議開催＝湖西市で開催、みなとを核とした地域振興
・海事局　造船業再生ロードマップ等＝新垣局長１月記者懇談会
・東亜建設工業　浚渫船にバイオ燃料初導入＝港湾工事の脱炭素化に取組み
・みなと総研・国交省　海の再生・ブルーインフラ賞＝第３回授賞取組を発表
・ノルウェーの地域・インフラづくり＝土木学会から発刊、屋井氏・水谷氏監修

■令和８年２月２日号（第1965号）
・自民党港湾議連　今後の港湾長期政策等議論＝国際基幹航路拡充への施策
・港湾局　重要港湾管理者等主幹課長会議＝森橋参事官「地域の課題共有、連携を」
・港湾関係団体　新春賀詞交換会を開催＝港湾の持続的発展へ団結
・港湾統計速報（７年10月）
・みなとの博物館だより（第２回）名古屋海洋博物館・南極観測船ふじ
・羽田空港　Ｃ滑走路北側取付誘導路＝Ｐ誘導路と共に地盤改良工
・北陸地整　輪島港復旧・復興検討会＝海面土砂処分場の整備へ
・鹿島港　北公共ふ頭地区の機能強化＝水深13m岸壁の基本設計
・川崎港　水江町線の橋梁付帯設備＝道路照明などの実施設計
・千葉港　港湾計画を軽易変更＝ＡＧＣの専用岸壁新設等
・飯田港　西防波堤の災害復旧工事＝ケーソン３函製作・据付など
・御前崎港　防波堤（Ａ）の粘り強い化＝改良設計に向けて土質調査
・松山空港　８年度に護岸築造を開始＝ケーソン６函の据付工事
・徳山下松港　徳山地区で岸壁上部工＝ケーソン５函の85m対象
・阪神国際港湾　木戸社長が港湾議連で要望＝集荷促進や大水深岸壁確保
・薩摩川内市　田中市長が港湾議連要望＝川内港の機能強化など

・志布志みなとセミナー開催　市制 20 周年＝ＲＯＲＯターミナル早期実現
・近畿地整　堺港湾振興会と災害協定＝発災時の支援物資保管等
・和歌山県　和歌山下津港セミナー開催＝更なる利用促進
・港湾局　新しい国際コンテナ戦略港＝政策の進め方検討委を開催
・港湾ＢＣＰ　ガイドライン案示し議論＝第２回検討委、コンテナＴの対応追記
・日本港湾協会　ポート・オブ・ザ・イヤー2025＝開港 400 年の青森港が受賞
・ＪＷＰＡ　新春賀詞交換会を開催＝６００人超参加者が交流
・福岡市・博多港振興協会　博多港振興セミナーin 東京＝高島市長が利用を呼びかけ
・洋上風力　村上・胎内市沖協議会開催＝事業者が風車機種変更等説明
・英国洋上風力　ＣｆＤ第７ラウンド＝過去最大８・４ＧＷ

■令和８年１月 26 日号（第 1964 号）
・港湾の成長戦略　港湾ロジWG初会合開催＝官民投資ロードマップ作成へ
・協働防護　協定締結の手引き検討委＝港湾の気候変動適応を促進
・港湾局　港湾施設の維持管理＝計画策定ガイドライン見直し
・みなとの博物館だより　第１回（一社）清水港湾博物館（愛称・フェルケール博物館）
・千葉港海岸　船橋地区の海老川水門＝ＷＴＯで２門を新築造へ
・輪島港　河合地区水深７・５ｍ泊地＝マリンタウン岸壁前面の浚渫工
・新海面処分場　Ｂブロックで貯留池整備＝浸出水集導帯など建設工事
・敦賀港　鞠山南地区水深９ｍ岸壁＝磁気探査に向けた浚渫工
・丘珠空港　ＰＩ中間とりまとめ＝９割超が「必要」と肯定
・鳥羽港　中之郷岸壁の耐震改修＝桟橋式で背後の土留工
・北九州空港　貨物用新エプロン計画＝８年度から整備着手へ
・和歌山下津港海岸　船尾南護岸第２工区促進＝鋼管矢板打設や上部工の延伸
・八代港　大築島土砂処分場の整備＝Ａ護岸の地盤改良促進
・舞鶴港　和田地区第２バース整備＝岸壁築造工事の手続きへ
・姫路港　広畑水深 14m岸壁築造＝タイワイヤー取付や裏込工
・大阪港湾局　鶴浜緑地を再整備へ＝みなと緑地ＰＰＰ活用
・工事入札結果（令和７年 11 月契約分）
・国交省港湾局　浮体式洋上風力の導入促進＝港湾あり方検討会開催、条件整理、施設規模検討へ
・北開局　北海道港湾活用ビジョン＝洋上風力導入促進で策定へ
・福岡市港湾空港局　市民シンポジウム「博多湾ダフル」＝環境保全の取組、体験ブース等
・福井県　敦賀港港湾脱炭素化推進計画＝バイオマス、次世代燃料導入等
・ユーラスエナジー　英スコットランド浮体式＝洋上風力ＣｆＤ落札、約 10 万ｋＷ
・ＪＯＧＭＥＣ　秋田市沖、旭市沖など＝海底地盤調査を委託へ

・ＪＢＥ　Ｊブルークレジット＝７年度第１回公募開始
・ゼロエミ船建造促進＝二次公募で４件を採択
・横浜港　ＣＯＮＰＡＳ試験運用＝ＢＣ２ゲートで原則予約
・ＣＯＮＰＡＳ常時運用＝大井３・４号Ｔで開始
・業務入札結果（令和７年 11 月契約分）

■令和８年１月 19 日号（第 1963 号）
・国交省港湾局　ＢＣＰ策定ガイドライン改訂へ＝コンテナＴ対応、検討委立上げ
・八戸港　国会議員に早期復旧要請＝コンテナヤードの段差解消等
・国総研　７年度補正予算概要＝港湾関係は５事業実施
・港湾局　ＣＴゲート高度化支援＝８年度補助事業公募開始
・国交省　ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥロゴマークを刷新
・【新連載】みなとの博物館だより～連載スタートに寄せて＝伊藤友道みなとの博物館ネットワークフォーラム会長
・関東地整　横浜港２事業を継続了承＝第６回事業評価監視委員会
・北陸地整　広域港湾ＢＣＰ訓練開催＝各港湾事務所参加で情報伝達
・茨城港　常陸那珂港区中央ふ頭＝水深 14m岸壁築造基礎工事
・能登港空復興推進室　和倉温泉の復旧状況＝護岸約 100ｍが概成
・八戸港　第１回復旧検討会の概要＝岸壁やヤード被災で意見交換
・四日市港　工事安全大会を開催＝各工事現場での取組も報告
・新潟港　東港区で土質調査実施＝水深 12m岸壁深浅測量
・青森県　青森空港の機能強化＝基礎調査業務を公募
・横浜市港湾局　第 73 回港湾審議会＝本牧ふ頭土地利用など
・大阪港航路　８年度は約 113 万 m3 浚渫＝安全な航行確保に向け促進
・新門司沖２期　８年度にＷＴＯ２件発注へ＝前期区東護岸の概成見込む
・北九州港　西海岸地区 11m岸壁改良＝第４ブロックの手続き中
・大阪港　航路附帯施設護岸嵩上＝開口部はコンクリ上部工
・阪神港　貸付国有施設維持補修＝８年度事業を発注見通しに
・東予港　港湾脱炭素化推進計画＝東港区を除く４地区
・広島空港　ＲＥＳＡ用地造成完了＝来年度は舗装工で仕上げ
・美保飛行場　エプロン改良工事実施＝１・２番スポット仕上げに
・広島港セミナー　市内でポートセールス＝2/4、聴講者募集
・北陸地整　能登半島地震の被災港湾＝復旧目標公表（昨年 12 月末時点）
・新垣慶太海事局長　年頭所感
・2026 企業トップの年頭あいさつ（桑原カナデビア社長、石倭日鉄エンジニアリング社長）
・戸田建設ら　五島洋上ＷＦ運転開始＝国内初の浮体式

・ＮＰＯ研究機構ジオセーフ＝防災・減災講演会開催
・伏木富山港　東京で利用促進セミナー＝荷主や物流事業者らが講演
・広島技調　民間技術説明会を開催＝６技術を紹介（2 月 2 日）
・ＲＳＯ登録技術セミナー＝管中混合処理工法の取組（2 月 10 日）

■令和 8 年 1 月 12 日号（第 1962 号）
・金子恭之国土交通大臣　記者会共同新春インタビュー
・【新連載】あだちまさしの目　第１回＝鳥の目、虫の目、魚の目、そして蝙蝠の目
・海事局　造船能力強化へ大型予算＝局発足以来の最高額
・農水・国交省　水門・陸閘等の現場操作＝ハンドブック作成・公表
・人事
・みなとＳＤＧｓパートナー＝新規７者、継続 70 社
・名古屋港　金子大臣が飛島ＣＴ視察＝「港湾ロジスティクス強化が急務」
・三河港　サーキュラーエコノミー＝検討会初会合を蒲郡市で開催
・四日市港　港湾計画改訂へ意見募集＝南北軸アクセス道路等
・北陸地整　能登半島地震の復興状況＝８年度末に復旧を見込む
・八戸港　復旧検討会初会合開催＝青森地震に対する基本方針
・三重県　港湾審議会開催＝尾鷲港計画変更など
・関東地整　アマモメッセンジャ―＝森副局長に種を手渡し
・整備局７年度補正予算
・九州地整　北九州港新門司、川内港唐浜＝事業評価監視委で継続了承
・平良港　防波堤（下崎西）を延伸＝事業評価監視委員会で審議
・近畿地整　神戸港国際ＣＴを再評価＝事業期間、事業費見直し
・宮沢康一航空局長　年頭の辞
・企業トップの年頭所感（五洋建設、東亜建設工業、東洋建設、若築建設）
・日本埋立浚渫協会　清水琢三会長　年頭所感
・海事局　造船業再生検討会立上げ＝座長に金子、小野田両大臣
・港コン協　７年度意見交換会総括＝工期改善や災害時包括協定
・海事局　造船業再生ロードマップ＝新垣局長 12 月記者懇談会
・設計士会　第 14 回勉強会を開催＝プレキャスト導入事例等
・「バリ島の発展と航空輸送」＝伊佐田氏著・１月発刊
・東亜建設工業ら　横浜港ブルーカーボン＝直立護岸にワカメ繁茂、環境学習イベントも
・東亜建設工業人事（１月１日）

■令和 8 年 1 月 5 日号（第 1961 号）
【令和 8 年新年特集】

・金子恭之国土交通大臣　新年の挨拶
・安部賢港湾局長　年頭所感
・８年度港湾予算　国費 2659 億円（対前年度比０・４％増）＝防災・減災、国土強靭化予算拡大
・国交省　７年度補正予算配分額＝港湾局関係は 1112 億円
・航空局　空港整備に 4250 億円＝競争力強化、安全確保等
・港湾局　みなとオアシス師崎＝１７０箇所目登録へ
・インフラＤＸ大賞発表＝港湾関係２件が優秀賞
・港湾局技官人事（１月１日）
・海ロマン 21　小型浮体式海洋温度差発電＝国境離島設置の研究まとめ
・横須賀市　命のみなとＮW海上輸送訓練＝国交省、海保、漁協らが連携
・東京都　お台場でアマモ種播き会＝都民、企業ら 200 名参加
・洋上風力　青森日本海南、山形遊佐町沖＝公募占用指針を認定
・振興会・港空研　官民技術交流会開催＝沿岸水工研究領域
・博多港　ハノイ市で振興セミナー＝日越間物流のプレゼン等
・日本埋立浚渫協会＝昨年 12 月から新体制に